

# 警察官を装った電話に注意!



警察官や検察官を装い、「あなた名義の銀行口座が犯罪に使われ、あなたは事件の容疑者となっている。」等と架空の事件に巻き込み、逮捕されないための保釈金や銀行口座を調査する名目で、犯人の管理する口座に現金を振り込ませ、現金等をだまし取る手口

※ 携帯電話への着信がほとんど(9割)であり、若い世代もだまされる

## ① 知らない番号(非通知等)から着信



## 犯人は警察官を装ってくる

- ・警視庁捜査二課の〇〇です
- ・〇×県警察の〇〇です

等、様々な都道府県警察を騙って電話を架けてくる

【最初のアポ電は警察以外にも】

- 総務省、総合通信局など
  - ・あなた名義で契約された携帯電話が犯罪に利用されている。
- 通信事業者 (NTT、NTTファイナンス、ドコモショップ等)
  - ・携帯電話の未納料金がある。
  - ・あなた名義で携帯電話が契約されている



警察へ転送します

## ② ニセの警察官から「あなたは容疑者だ」「逮捕状が出ている」などと脅される



## ニセの警察官が言うてくること

- ・詐欺事件グループの犯人を捕まえたら、犯人が使っていた口座(携帯電話)にあなた名義のものがあつた。
- ・あなた名義の携帯電話が犯罪で利用されている。
- ・あなた名義の口座がマネーロンダリングに使われている。
- ・あなたは、容疑者になっている。



トークアプリ(LINE等)に誘導

## ③ トークアプリでニセ警察官とのやりとりに誘導



ニセ逮捕状の写真が送られる

- ・特別にトークアプリ(LINE等)で取り調べを行います
- ・あなたに逮捕状が出ている。(画像で送られてくる)
- ・あなたの口座にあるお金が犯罪資金であるか調査するので、**全額指定口座にお金振り込んで**。後でお金は返ってきます。

警察官→検察官に流れるパターンも

- ・検察官に繋がります。等と検察官に繋がれる



ニセ検事

- ・保釈金として〇〇万円払えば逮捕されない。など

**全資産**を振り込むように要求され、**高額被害**になりやすい。

さらに

**ネットバンキング**での振込であれば、振込上限金額が高額に設定できるため**高額被害**になりやすい。

